

令和元年度 指定管理業務 評価票

寝屋川公園	【指定管理者】 寝屋川公園指定管理グループ	【指定期間】 平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日	【所管課】 枚方土木事務所 都市みどり課
-------	--------------------------	------------------------------------	-------------------------

【管理状況(概観)】
 ○施設の設置目的に沿い、適切に公園を運営した。「地域連絡協議会」を開催し、地域のネットワークを構築しイベント内容の充実を図った。
 ○施設の維持管理は概ね良好で、倒木や危険枝の撤去など初期対応をはじめ、根上がり樹木による園路差解消にも取り組み、良好な利用状況の創出に努めた。
 ○利用者満足度調査の全体的な満足度については良好であり、財政基盤および管理体制についても管理業務を遂行する上で問題は見られなかった。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
I 提案の履行状況に関する項目						
(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。)</p> <p>※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「寝屋川公園地域連携協議会」を開催し、情報共有と連携を図り、公園の魅力や利用方法の発掘、促進を行った。 ・「地域の誇りとなる公園づくりの一環」として、公園ボランティアと協働による花壇管理・竹林管理・園内清掃、各種イベントを実施した。 ・JR西日本との連携をはじめ、JR西日本の広報誌「西Navi」へのイベント情報掲載及び、寝屋川公園フェスティバルへのJR西日本ブースの出展を実現した。 ・「オーパス・スポーツ施設情報システム」を通じて平日にスポーツ施設利用者本人に対して、駐車料金390円の割引サービスを実施中。 ・ホームページ上に「ご意見・ご要望への対応広場」を掲載し情報発信している。 ・中央広場噴水の13時台の運転時間について、13:00～13:15、13:30～14:00に時間延長を行った。 <p>【自己評価】</p> <p>地域連絡協議会は公園の活用やあり方を議論する有意義な場として運用している。 寝屋川公園フェスティバルには「西Naviを見てきた」という来場者も多く訪れ、昨年を大きく上回る2,500人の来場者を得ることができた。 駐車場割引は公園利用者に好評である。 ホームページでは施設利用やイベント情報に関する問い合わせや要望に対応し利用者の理解を深めることができた。 噴水の運転時間延長により、夏季の来園者数が昨年に比べ増加。</p>	S	<p>○府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って管理・運営をするとともに、提案以上の取り組みを実施した。</p> <p>○地域連絡協議会を活用し、積極的に広報を展開するなどイベント来場者数の増加に取組み、年間来園者数の増加が顕著であることは、非常に高く評価できる。</p>	S	施設所管課評価は適正である。 地域連絡協議会の場を活用し、公園の利用促進につなげたことは高く評価できる。
(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	収益事業の実施状況。(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価		【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言	
			評価 (S~C)	評価 (S~C)		
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。(接遇等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。 スポット植栽等による景観づくりについて、今後の取り組みを期待したい。	A	施設所管課評価は適正である。
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内清掃は、繁忙期は週3回、その他の時期は週2回を実施している。 トイレ清掃は、4月から11月において、標準回数(1回および2回の箇所)について、週3回実施している。 清掃情報点検表を各トイレ・更衣室の見やすい位置に掲示し、利用者目線に立った案内を行っている。 中央広場噴水・カスケード・壁泉など噴水施設などのゴミを毎日確認し、ゴミの回収を行っている。 大阪府が進める「ゴミ0」計画に基づき、公園内のゴミ箱についてBBQ対策のための1か所のみを設置している。 <p>【自己評価】</p> <p>園内清掃では、計画以外にも障がい者1名の雇用を行って平日は毎日清掃を行っており美観が保たれている。</p> <p>便所清掃では施設の老朽化によるトラブルが時々発生するが迅速な対応を行い、美観を保つことができた。</p> <p>中央広場のカスケードの清掃を行うことで水遊びをする子供たちの安全や衛生環境を保つことができた。</p>	A	<p>○府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。</p> <p>○景観上見苦しい箇所については、美観への配慮がなされていなかったが、土壌調査を行いつつ植栽の再生基本案を検討し、地元と連携を図るなど計画的に実施するというところで、次年度に期待する。</p> <p>○園内清掃では、標準回数を増やし、清掃情報点検表を各トイレ・更衣室の見やすい位置に掲示するなど利用者への配慮も行いつつ障がい者の雇用を増やすなど施設の美観維持に取り組んでいる。</p> <p>また、ゴミ対策も行っている。</p>	A	施設所管課評価は適正である。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
(4)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。

II さらなるサービスの向上に関する事項

	アンケート結果はどうであったか。これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】 ・春、秋の2回、各200部のアンケート調査を実施し回収済み。</p> <p>【自己評価】 アンケート結果の「全般的な満足度」が1.3であったことから、自己評価は「A」とした。 売店についての不満が多かったため、現在、管理事務所とクラブハウス内に設置している自販機の台数や販売品目の増加や、指定管理者による移動式売店の展開を検討する。 また、HPやイベント案内についても「わからない」の回答が多かったことから、紙媒体広報物の近隣小・中学校への持ち込みを継続しつつ、公式HPやTwitter、Facebook等のネット媒体でのイベントの告知、開催報告をこまめに行い、若年層向けの広報を強化する。</p>	A	公園の全般的な満足度は1.3とやや良いを上回っている。 引き続き、低評価の項目についても取り組みを進め、公園利用者の満足度向上を図ることを期待する。	A	総合的な満足度は概ね良好であり、適切な維持管理が行われている。
--	--	---	---	---	---	---------------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価	評価 (S~C)	【寝屋川公園】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)			
(1)利用者満足度調査等	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組みを行ったか。	<p>【実績】</p> <p>アンケート結果から ・園内に売店が少ないため、不便を感じている方が多いことから、イベント時の臨時売店の設置や建物内自販機の設置を行った。 ・HP及びイベント案内についてやや不満が多かったことから、近隣小中学校への広報紙の持ち込みを継続的に行うほか、JR西日本との連携を強化し、JR西日本の広報紙「西Navi」へのイベント情報掲載を実現した。 またHPから見ることのできるTwitter、Facebook等のSNSでも積極的に情報発信を行った。</p> <p>【自己評価】</p> <p>飲料やアイスクリームの自販機販売については好評を得ている。また、イベント時には公園近隣の飲食店と連携し飲食ブースを設けることでニーズに答えている。 JR広報紙に掲載された寝屋川公園フェスティバルは、参加者数が昨年より大幅増となった(1,000人⇒2,500人)。</p>	A	前年度のアンケート調査結果に対応し、臨時売店の設置や広報の充実により、満足度向上を図っている点は評価できる。	A	前年度のアンケート意見に対し、満足度向上のための取組みを実施している。
(2)その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <p>・支援学校に協力し、活動場所の提供や生徒送り迎えの際の駐車場利用券の発行など活動支援を行った。 ・ケヤキ通りに伐採木を活用したイーゼルを作成、設置し、近隣の学校や地元の書道家の作品を展示した(森の展示室)。次の展開として「ペット大好き写真展」を予定。</p> <p>【自己評価】</p> <p>支援学校への協力では、保護者の方や関係者の理解を得て地域貢献につながっている。 森の展示室は来園者の反響も大きく、書道家の作品掲示については、「日本漢字能力検定」の公式HP上で紹介された。 「ペット大好き写真展」では地元の方との接点になり、公園への理解度が上がっている。</p>	A	作品展示(森の展示室)による企画提案について、今後の展開に期待する。	A	施設所管課評価は適正である。

III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <p>・長雨や猛暑、台風などの影響により収入不足や緊急支出が生じたが支出計画の見直しを行うことで適正に支出配分を行った。</p> <p>【自己評価】</p>	A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	適切な予算執行である。
(2)安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	<p>【実績】</p> <p>様式第4号「管理体制計画書」に記載された必須ポスト数、責任者1名、副所長1名、職員1名他を配置している。</p> <p>【自己評価】</p> <p>・必須ポスト数以上の人員を確保し、管理体制や職員計画を構築した。</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理体制及び職員体制を構築した。	A	
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	<p>【実績】</p> <p>・「公園管理運営士」の資格を有する所長(総括責任者、運営管理責任者)を配置している。 ・「造園施工管理技士」の資格を有する維持管理責任者を配置している。 ・危険物乙種4類取扱者1名を配置している。 ・電気主任技術者は、その資格を有する技術者を保有している一般財団法人関西電気保安協会に委託している。</p> <p>【自己評価】</p> <p>計画どおり有資格者の配置を行っており、資格に基づいて適正管理を行うことができた。</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に必置技術者等を配置した。	A	
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	<p>【実績】</p> <p>・事故事例等の情報を共有し朝礼やミーティング時に注意喚起を促している。 ・機器を用いる園内業務を行う際は、免許や講習会終了した者が行っている。 ・労働安全衛生規則の一部改正に伴い、「伐木等(チェーンソー)従事者特別教育」による資格を持つ現場作業従事者は、定められた補講を速やかに受講した。</p> <p>【自己評価】</p> <p>毎日の朝礼や研修を通じてスキルアップを図ることで一人一人の意識改革が行えており、現場作業での安全対策が適正に行われている。</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理運営が行われている。	A	適切に管理運営が行われている。
(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	<p>【実績】</p> <p>グループ内の各法人ともに、経営状況に大きな変化はなく、指定管理業務の継続に問題はありせん。</p>	A	特に、問題は見当たらない。	A	構成団体の財政状態は良好である。